

平成23年度 指定管理者施設管理評価シート

部 生涯学習推進担当 課 生涯学習課

施設名称		〔42〕 東京都台東区立社会教育センター				
指定管理者の名称		株式会社山武		指定期間	H21. 4. 1 ~ H24. 3. 31	
1. 指定管理者の概要						
(1) 業務内容	ビルディングオートメーション、産業オートメーション、システム開発、設計、製造、販売、賃貸、工事施工、保守、輸出入並びに試験及び検査の請負等					
(2) 類似施設の管理実績	東京都北区滝野川体育館他 3 5 施設					
(3) 経営状況		売上総利益	販売費・一般管理費	営業利益〔単位：百万円〕		
	2 1 年	60,041	48,546	11,494		
	2 2 年	61,831	49,160	12,670		
2. 施設の概要						
(1) 所在地	台東区東上野 6-16-8 上野小学校と併設					
(2) 設置目的	区内の社会教育団体等に自主学習の場を提供し、学習活動及び組織活動を活発に行わせる。ラーニングスクエア等を開設し、自主グループの結成、区民の生涯教育、文化教育の向上に助力する。					
(3) 利用者	社会教育団体として登録されている団体、センターが行う事業に参加する区民					
(4) 開館日・時間	火曜～日曜、第 2・4 月曜：9:00～22:00、第 1・3・5 月曜：13:00～22:00 休館日：祝日、年末年始(12/28～1/4)					
(5) 規模	ホール 130 人 会議室 40 人 調理室 32 人 和室 20 人 温水プール 25m×15m(7 コース)					
(6) 人員体制	週 40 時間勤務 12 人 (清島温水プールを含む)					
3. 事業（サービス提供）の概要						
(1) 委託事業	1、生涯学習・社会教育活動に関する資料の収集及び学習情報の提供 2、施設利用者の生涯学習・社会教育活動に対する指導、助言及び相談 3、生涯学習ラーニングスクエアの実施					
(2) 自主事業	7 講座実施 12 回 延参加人数：253 人 社会教育センター・館まつり 延参加人数：1,370 人					
4. 予算決算の推移						
		18年度	19年度	20年度	21年度	22年度
予算	委託料	86,426,000	88,106,000	84,400,000	75,222,000	76,109,000
	料金収入等	2,500,000	2,900,000	2,500,000	2,450,000	2,560,000
	管理経費	88,926,000	91,006,000	86,900,000	77,672,000	78,579,000
決算	委託料	86,040,044	87,604,880	84,089,000	75,222,000	76,019,000
	料金収入等	2,300,895	2,417,785	2,348,870	2,247,735	2,147,080
	管理経費	86,076,627	83,415,534	86,437,870	77,469,735	78,166,080
	収支	2,264,312	6,607,131	0	0	0
5. 施設の稼働状況等（活動指標）						
指標名称		単位	19年度	20年度	21年度	22年度
年間開館日数		日	355	353	355	356
ラーニングスクエア講座数		講座	14	18	15	14
自主事業講座数		講座	18	12	8	7
6. 成果指標						
指標名称		単位	目標値 (24年度)	20年度	21年度	22年度
利用率		%	53.0	51.2	52.8	50.7
利用件数		件	2,200	2,119	2,199	2,119

7. 平成22年度評価結果に対する現在までの取組み

- ・各スタッフのスキルアップのための接遇教育研修の充実を図った。
- ・台東区の地域文化活用として「盆踊り」や地域産業の「袋物」などを行い、新たな地域資源として「台東区むかしむかし」を教材にした講座を行った。
- ・学びの還元につながる学習プランづくりや人材活用を行い、多様なニーズに対応できるようジャンルの拡大と受講者の世代拡大に努めた。

8. 評価項目 3：協定等の水準を上回っている。 0：協定等の水準を下回っている。
 2：協定等の水準どおりである。 -：評価対象外項目。
 1：おおむね協定等の水準だが課題がある。

評価の観点	評価項目			
(1) 事業の運営 平均 [2.1]	(a) 施設の目的達成	[2]	(f) 開館時間等の遵守	[3]
	(b) サービス水準	[2]	(g) 自主事業の成果	[2]
	(c) 職員配置	[2]	(h) 個人情報保護	[2]
	(d) 職員研修	[2]	(i) 緊急時対応マニュアル	[2]
	(e) 案内・接遇	[2]	(j) 警備・防犯体制	[2]
(2) 施設の維持管理 平均 [2.0]	(a) 建物保守・設備機器点検	[2]	(e) 危険箇所等の確認	[2]
	(b) 備品の管理	[2]	(f) 管理記録の作成・保存	[2]
	(c) 清掃・衛生管理	[2]	(g) 業務委託の事前承認	[2]
	(d) 施設の修繕	[2]	(h) 省エネ・省資源・環境配慮	[2]
(3) 利用者の満足度 平均 [2.0]	(a) 利用者・第三者機関の評価	[2]	(d) 利用しやすい環境整備	[2]
	(b) 苦情・要望への対応と報告	[2]	(e) 関係団体・地域との関わり	[2]
	(c) 利用者数の目標達成	[2]		
(4) 歳入歳出 平均 [2.0]	(a) 適正な予算執行	[2]	(c) 収支計画の達成	[2]
	(b) 経費削減のための取組み	[2]	(d) 利用料等の徴収・管理	[2]

9. 評価

S（水準以上）： 協定等の水準を満たし、一部に水準を上回る内容がある。
 A（適正）： 協定等の水準を満たす管理が行われている。
 B（一部課題あり）： 協定等の水準を満たしているが、一部に課題がある。
 C（課題あり）： 協定等の水準を満たしているが、課題が複数ある。
 D（水準未達）： 協定等の水準を満たしていない。

評価の観点	評価	説明
(1) 事業の運営	A	19年度より本施設や他の教育館を利用している団体に声をかけつつ「館まつり」を実施し、調理室を活用した自主事業を行うなど認知度の向上に取組み、利用率の増加につなげている。一方で団体の自主性を育てることも努力している。
(2) 施設の維持管理	A	老朽化している機器をこまめに調整しながら、交換や修繕に対する早めの提案で適正な施設の維持管理を図っている。夏場の節電に対しても山武製の機器を活用していかに省エネし効率よく冷やし利用者が快適に利用できるよう提案して、区の実施に協力してくれた。
(3) 利用者の満足度	A	受付カウンターの改良を行い利用者の利便性を向上させた。「所長への手紙」等の活用により、利用者の要望等を積極的に汲み取りその対応についても管内に掲示するなど、利用者視点に立った管理運営を行っている。
(4) 歳入歳出	A	委託料の削減が図られているが、利用率と利用収入については微減傾向であるため、利用率が低い和室と調理室がより活用されるよう施設のPR強化に引き続き取り組むことが必要である。

10. 総合評価 良好 妥当 要努力 要改善 不適

妥当

1 F ロビー正面に情報案内用モニターを設置し開催予定のラーニングや自主事業の案内及び応募状況を可視化したり、ホームページ内容の充実や教育館ニュースの発行など、随所に工夫を講じながら施設サービス展開している。

11. 平成23年度評価結果に対する今後の対応

需要に応えた講座の実施をするとともに、新規団体の立上げに協力するなど一層の施設利用者の増加に努め、料金収入の増加を図る。さらに様々な機会を捉えてPRを図る。また、一層のサービス提供に力を入れていくよう管理運営方法について指定管理者と協議していく。